

令和 8 年 1 月 26 日

姫路市地域公共交通会議離島航路分科会

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価 (「姫路港～坊勢島航路 生活交通確保維持改善計画」に基づく事業)

1 事業評価について

(1) 事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価は、協議会が「生活交通確保維持改善計画（以下「計画」という。）」に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認、目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的とする。

(2) 事業評価の項目

評価項目	内 容
事業実施の適切性	「計画」に基づく事業が適切に実施されているか。
目標・効果の達成状況	「計画」に位置付けられた定量的な目標・効果が達成できているか。
今後の改善点	実施した事業について改善点があるかどうかを事業の目的の達成状況を考慮したうえで検証したか。

(3) 事業評価の実施方法等

姫路市地域公共交通会議離島航路分科会において自己評価を行った。

2 事業評価の対象となる補助事業について

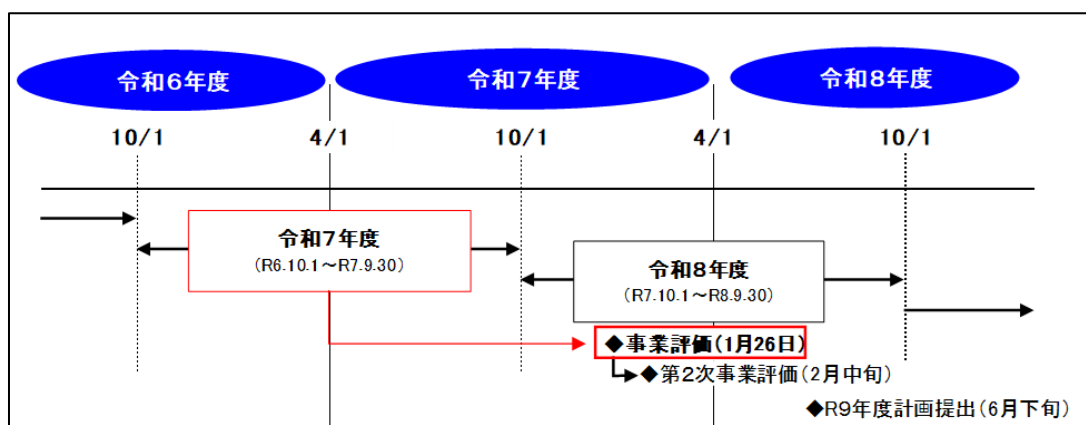
(1) 補助事業の概要等

- ① 事業の名称：地域公共交通確保維持改善事業（離島航路運営費等補助金）
- ② 計画の名称：生活交通確保維持改善計画
- ③ 協議会の名称：姫路市地域公共交通会議離島航路分科会
- ④ 航路事業者の名称：坊勢輝汽船株式会社
- ⑤ 航路の名称：坊勢～姫路（海上運送法第3条の規定に基づき許可を受けた航路名）

(2) 評価の対象期間等

- ① 補助対象期間：令和6年10月1日～令和7年9月30日
- ② 事業評価の対象期間：令和6年10月1日～令和7年9月30日

3 事業評価のスケジュールについて



4 自己評価の結果について

(1) 事業実施の適切性

計 画 内 容

(「令和7年度 姫路港～坊勢島航路生活確保維持改善計画」より)

1 事業目的・必要性

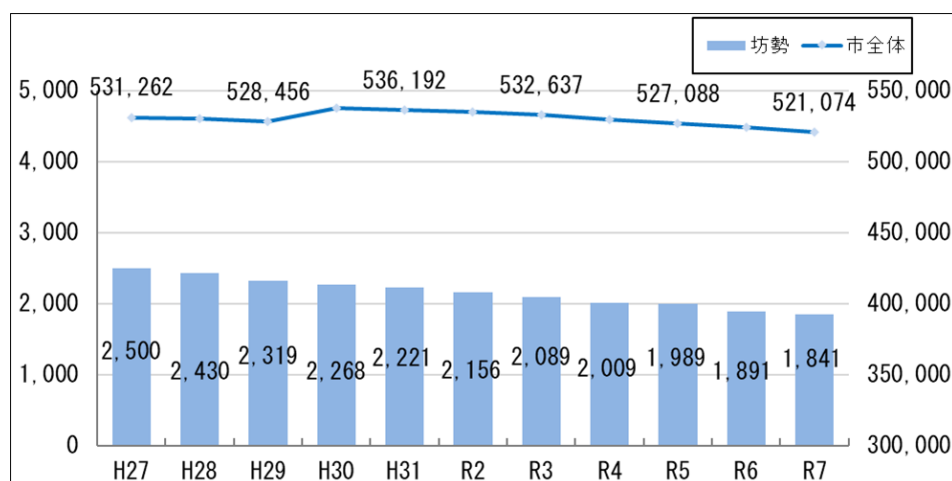
本航路は、離島住民にとって島外への通学や通勤、通院、買物等の生活需要の確保のために利用しており、坊勢島と姫路港を結ぶ唯一の公共交通手段であることから、なくてはならない生活の足となっている。

島民人口は年々減少しており、また燃料価格の高騰が続く中、航路事業者独自の収益拡大と経営改善のみでは航路を確保・維持していくことは困難な状況にあり、引き続き離島航路の維持には国等の公的支援が必要な状況にある。

◇利用者数

- 令和7年度 216,927.5人(令和6年度比 +3,067.5人、令和元年度比 -14,437.5人)
- 令和6年度 213,860人
- 令和5年度 219,592人
- 令和4年度 219,027人
- 令和元年度 231,365人(コロナ前)

◇坊勢島の人口推移



※H30からは外国人を含めた数値に変更したため、人数が増加している

2 計画に記載する運航回数

(単位：回)

運航系統	航路距離	船 名	運 航 期 間	運航回数（片道）
姫路 ～男鹿 ～奈座	22.1km	ぼうぜ2	令和6年10月～令和7年9月	3,974
		はるか	令和6年10月～令和7年9月	4,120
		クイーンぼうぜ	令和6年10月～令和7年9月	656
合 計				8,750

実施内容及び達成状況

◆ 令和7年度の運航回数は、8,670回（欠航80回）【表1参照】

欠航は80回で、前年度178回、前々年度実績104回に比べ、減少している。また、欠航理由については悪天候による安全管理規定等に基づく欠航のみであり、令和7年度においては機械トラブルによる欠航はなかった。これは、定期的なメンテナンスによる船舶の適正管理及び安全運航に努めた結果である。

【表1】運航計画回数と運航実績

（単位：回）

運航系統	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期計
姫路 ～男鹿 ～奈座	計画回数	744	720	744	734	672	744	4,358
	運航実績	744	708	738	726	648	744	4,308
	差引	0	▲12	▲6	▲8	▲24	0	▲50

運航系統	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	下期計	計
姫路 ～男鹿 ～奈座	計画回数	720	744	720	744	744	720	4,392	8,750
	運航実績	714	738	720	729	745	716	4,362	8,670
	差引	▲6	▲6	0	▲15	1	▲4	▲30	▲80

自己評価の内容

（評価：○A・B・C）

- ◆ 令和7年度の運航は、例年より欠航回数が少なく、欠航理由も運航基準に基づく悪天候による欠航のみであり、安全管理規程等を遵守した安全運航に努めた結果、適切な運航ができた。
- ◆ 定期的にメンテナンスを実施し、船舶の適正な維持管理に努めたことで機械トラブルによる欠航はなかった。
- ◆ 利用状況を踏まえつつ、本土からの工事関係者の利用を見据えたダイヤ改正により、利便性の向上と利用者の確保に努めた。

(2) 目標・効果の達成状況

計 画 内 容

1 目標・効果

本航路の利用者は坊勢島民が6割を占めているが、人口減少が市域全体よりも著しいという現状を踏まえ、旅客輸送量の維持は難しいと想定され、家島本島や姫路市中心部等との周遊企画や関係機関と連携した SNS やパンフレットの作成をはじめとした島の魅力を活かした企画を検討するなど、余暇需要、交流人口の増加や魅力発信に努める。

また、持続可能な経営に向け、引き続き中型船の適切な運航の徹底や使用船舶の自社保有化による経費削減に加え、乗船券のキャッシュレス決済の拡充による利便性の向上に努める。

なお、航路における収益を確保していくためには、利用者数を維持することが重要であることから、当計画の目標を「旅客輸送量」とし、過去3カ年の平均値 217,085 人を確保することを目指す。

実施内容及び達成状況

1 旅客輸送量

令和7年度の旅客輸送量は、216,927.5 人となり、目標の 217,085 人とほぼ同数（157.5 人減）となった。

また、前年度実績 213,860 人と比較すると、3,067.5 人の増加となった。【表2 参照】

◆ 利用促進の取り組みとして【別紙1 参照】

令和6年8月に坊勢小学校の工事関係者の利用を見据えたダイヤ改正を実施し、従来の利用者に加えた輸送量の拡大を図った。

余暇需要の拡大に向け、旅客船の乗船券とバスの乗車券をセットにした企画切符の販売や、姫路市地域おこし協力隊による SNS を利用した島の魅力の発信、姫路観光ガイドブックへの広告掲載を行った。

利用者サービスの向上のため、インスタグラム等を活用した運航情報等の発信や、一部乗船券のキャッシュレス決済対応などに引き続き取り組んだ。さらにコミュニティバスとの連携により交通結節機能を強化し、島内交通との利便性向上も図った。

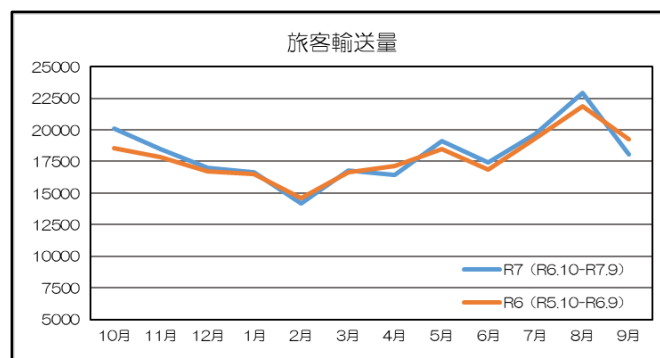
【表2】令和6年度～令和7年度旅客輸送量

(単位：人)

年度	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比
R7	20,136.5	108.6%	18,509.5	103.7%	17,004.0	101.8%	16,677.0	101.0%	14,168.5	96.9%	16,758.5	100.7%
R6	18,544.5		17,846.0		16,709.5		16,505.0		14,618.5		16,648.0	

年度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		計	
	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比	人数	対前年度比
R7	16,457.0	95.9%	19,144.0	103.4%	17,416.5	103.2%	19,660.5	101.6%	22,963.0	105.0%	18,032.5	93.8%	216,927.5	101.4%
R6	17,157.0		18,516.0		16,877.5		19,346.5		21,863.0		19,228.5		213,860.0	

※R7目標値 217,085 人



2 収 支

令和7年度の収支は、▲56,781 千円となり、令和7年度における計画に対する実績差は、それぞれ収益 7,681 千円増、費用 19,032 千円増、収支差引損益は 11,351 千円の減となった。

【表3参照】

同じく前年度決算に対する実績差では、収益 35,567 千円増、費用 25,520 千円増、収支差引損益 10,047 千円の増となった。

前年度決算に対する損益の主な要因は以下のとおりである。

◆ 収益面

令和4年10月に運賃値上げを実施した際に、値上げ前の回数券のまとめ買いが発生したことによる回数券収入の令和4年度の増大の後、大幅な減少が続いていたが、令和7年度は値上げ前の令和3年度と比べ金額ベースで109%を達成し、収益は前年度決算に比べ大幅に増加した。

また、令和7年度においても姫路市による燃料費高騰支援金があり、収益全体としては前年度決算に比べ大幅に増加している。

◆ 費用面

物価高騰が続く中、燃料費の高騰に加え、クイーンぼうぜの中間検査や船員費の増加があったものの、費用は前年度に比べ約25,520千円の増加に留めた。

また、中型船の運航を荒天時や繁忙期に限定し、最小限の運航により経費削減に努めた。なお、使用船舶3隻について長期利用を見据え、リースによる運航から自社保有船化したことで令和7年度・8年度は減価償却費や利子が増加するが、一方で中長期的な経費削減を図っている。

【表3】令和6年度及び令和7年度の損益

(単位：千円)

年度	区 分	収 益(A)			費 用(B)			差引損益 (A)-(B)
		運航収益	営業収益	計	運航費用	営業費用	計	
R7	決算額	231,030	36,962	267,992	213,637	111,136	324,773	▲56,781
R7	計画額	255,434	4,877	260,311	190,250	115,491	305,741	▲45,430
R6	決算額	202,144	30,281	232,425	190,573	108,680	299,253	▲66,828
R7-R6(決算額)		28,886	6,681	35,567	23,064	2,456	25,520	10,047

(参考) ◇回数券収入

R7年度：100,971 千円（値上げ影響前 R3 年度比 109.4%）

R6年度：75,907 千円

R5年度：38,305 千円

R4年度：280,870 千円

R3年度：92,330 千円

◇燃料単価（主燃料） 燃料購入金額（実績）/燃料購入量（実績）

R7年度：88,362,913 円/841,975 ℓ=104.95 円/ℓ（前年差+ 3.99 円）

R6年度：84,219,133 円/834,142 ℓ=100.96 円/ℓ（前年差+ 1.07 円）

R5年度：86,328,510 円/864,215 ℓ=99.89 円/ℓ（前年差+ 2.14 円）

◇中型船運航回数

R7年度実績：500 回（計画 656 回）/（総運航回数 8,668 回）

R6年度実績：564 回（計画 650 回）/（総運航回数 8,596 回）

R5年度実績：648 回（計画 1,400 回）/（総運航回数 8,646 回）

自己評価の内容

(評価 : A ・ B ・ C)

令和 7 年度の利用者数は、前年度に比べ約 3,000 人増加した。これは、坊勢小学校の改修工事に従事する工事関係者の利用を見据えた、朝の第 1, 2 便のダイヤを変更したことが大きな要因となっている。

企画切符の販売や、Instagram やメールによる前広な運航状況の配信、定期船との接続を考慮したコミュニティバスのダイヤ改正などにより、利便性が確保できた。

また、来訪者の増加に向けた取り組みとして、地域おこし協力隊による SNS 発信や関係機関と連携したパンフレット作成などを行い、島の魅力を積極的に発信した。これらの結果、定年後の移住者の獲得に成功するなど島の振興にも寄与し、交流人口を増加させた。

収支面では、令和 4 年 10 月に運賃値上げを実施した際の回数券のまとめ買いにより、令和 4 年度に回数券収入が増大した後、大幅な減収が続いていたものの、令和 7 年度の回数券収入は令和 3 年度と同収入を上回るまで回復し、運賃値上げによる経営の安定化の効果も出始めている。

また、燃料費が高騰する中、中型船の運航を荒天時や繁忙期に限定し、最小限の運航とすることで経費削減ができた。さらに、使用船舶 3 隻について長期利用を見据え、リースによる運航から自社保有船とし、中長期的な経費削減を図った。

経営安定化を図ることで、慢性的な船員不足の解消や陸員の確保にも対応でき、安定した航路運営に寄与した。

(3) 今後の改善点

改善点があるかどうかを事業の目的の達成状況を考慮したうえで検証したか。

引き続き、中型船の運航を荒天時や繁忙期に限定し、小型船を中心とした運航とし、小型船のいずれでも男鹿島への寄港ができるようにするなど、運航需要に応じた適切な船舶の活用を図り、経費節減に努める。

船員を 1 名増員し、船員 12 名体制で安全で安定的な運航を継続できる環境を整える。

今後も島民人口の減少による影響が見込まれるが、家島本島や姫路市中心部との周遊企画、関係機関と連携し SNS の発信やパンフレットを作成するなど、島の魅力を積極的に PR し来訪者の増加に向け取り組むほか、Instagram やメールにより運航状況を前広に配信するなど、さらなる利便性向上に努めていく。

利用者拡大と利便性向上への取り組み

【取組事例①】余暇需要の拡大に向け、旅客船の乗船券とバスの乗車券をセットにした企画切符を販売し、さらに島内の飲食店等で利用できる割引等サービスを付与した取り組みを実施し、来島者を増加させた。

しま遊びきっぷ
路線バス・家島航路セット券

島内のお店で使える
見せく割引
あるよ

しま遊びきっぷ 2025年 2026年 / in 家島諸島2025

利用期間 4月1日(火) ~ 3月31日(火)

大人1名 2,200円

発売期間 2025年4月1日(火) ~ 2026年3月31日(火)

有効期間 利用期間内1回限り有効

発売窓口 神郷バス・姫路駅前南内所・神郷バス神戸三宮バスターミナル
(Tel 079-289-1189) (Tel 078-231-5561)

お問い合わせ 支線・支線状況等や道路・道路が閉鎖した場合の
乗り換え不能による払戻しはできませんので予めご了承ください

しま遊びきっぷ
割引・サービス利用店舗一覧

2025年 2026年 / in 家島諸島2025

利用期間 4月1日(火) ~ 3月31日(火)

大人1名 2,200円

発売期間 2025年4月1日(火) ~ 2026年3月31日(火)

有効期間 利用期間内1回限り有効

発売窓口 神郷バス・姫路駅前南内所・神郷バス神戸三宮バスターミナル
(Tel 079-289-1189) (Tel 078-231-5561)

お問い合わせ 支線・支線状況等や道路・道路が閉鎖した場合の
乗り換え不能による払戻しはできませんので予めご了承ください

【取組事例②】姫路市地域おこし協力隊と連携し SNS を利用した島の魅力の発信を行い、観光客や定年後の移住者の獲得に成功した。

himejcity_chiikiokoshi

【家島諸島ナビ】姫路市地域おこし協力隊

217 投稿 1,714 フォロワー 1 フォロー中

家島諸島ナビ

家島諸島へ
の行き方

家島で
やりたいこと

家島諸島
の風景

家島で
やりたいこと

家島諸島
の風景

家島で
やりたいこと

Facebook 姫路市地域おこし協力隊

姫路市地域おこし協力隊

自己紹介

家島諸島ナビ

家島諸島へ
の行き方

家島で
やりたいこと

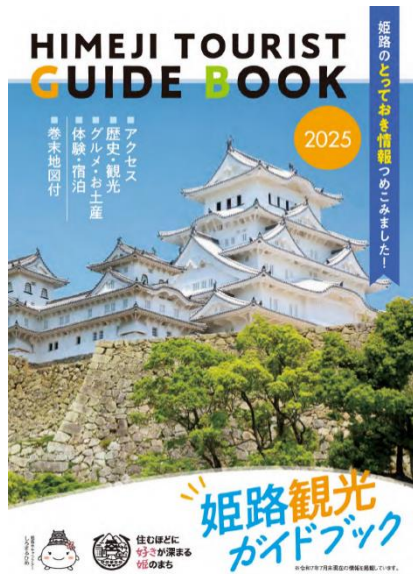
家島諸島
の風景

家島で
やりたいこと

家島諸島
の風景

家島で
やりたいこと

【取組事例③】姫路観光ガイドブックへの広告掲載により観光客獲得に努めた。



【取組事例④】家島諸島で開催される花火大会、ペーロン大会への新聞広告への協賛を行い、交流人口の拡大に取り組んだ。

マリンブルーリゾート...家島。四十四島(しあわせのしま)、今、感動のレジャーアイランド。

瀬戸内海国立公園 いえしま諸島

7/19 20 **家島天神祭**
(真岡地区・真岡の獅子舞)
花火大会(19日のみ)

8/2 **ぼうぜペーロン**
フェスタ2025

いしま自然体験センター(真岡)
真岡の自然・文化・歴史を学ぶための施設です。
真岡の自然・文化・歴史を学ぶための施設です。
真岡の自然・文化・歴史を学ぶための施設です。

交通のご案内
家島観光バス
家島観光バス
家島観光バス

坊勢島 前撰!
60年以上にわたり島の新鮮な食材を
「天然の恵み」を堪能できるお食事です。
新鮮な食材「真岡」の味を堪能してください。

白い人達と真岡
白い人達と真岡
白い人達と真岡

家島町宮区会
〒672-0102
姫路市家島町宮1055
TEL: 079(325)0224
FAX: 079(325)2751

家島町真浦区会
〒672-0101
姫路市家島町真浦571番地
TEL: 079(325)0214
FAX: 079(325)2147

家島町坊勢区会
〒672-0103
姫路市家島町坊勢146番地
TEL: 079(325)0858
FAX: 050(3505)3313

家島町花火大会実行委員会
079(325)0224

姫路市商工会
本 所: 姫路市夢前町之庄1434-15
TEL: 079(336)1368
家島支所: 姫路市家島町宮1900
TEL: 079(325)0629
香古支所: 姫路市香古町香古204-1
TEL: 079(232)0570
安富支所: 姫路市安富町安富1151
TEL: 079(66)2696

家島町宮区会
〒672-0102
姫路市家島町宮1055
TEL: 079(325)0224
FAX: 079(325)2751

家島町真浦区会
〒672-0101
姫路市家島町真浦571番地
TEL: 079(325)0214
FAX: 079(325)2147

家島町坊勢区会
〒672-0103
姫路市家島町坊勢146番地
TEL: 079(325)0858
FAX: 050(3505)3313

家島町花火大会実行委員会
079(325)0224

坊勢島汽船株式会社
079-234-1173

家島町宮区会
〒672-0102
姫路市家島町宮1055
TEL: 079(325)0224
FAX: 079(325)2751

家島町真浦区会
〒672-0101
姫路市家島町真浦571番地
TEL: 079(325)0214
FAX: 079(325)2147

家島町坊勢区会
〒672-0103
姫路市家島町坊勢146番地
TEL: 079(325)0858
FAX: 050(3505)3313

家島町花火大会実行委員会
079(325)0224

【取組事例⑤】Instagramやメールにより運航情報等を発信し、利用者サービスの向上に努めた。特に、欠航情報を前広にお知らせしたことにより、利便性の確保ができた。



定期便の欠航情報等をお客様のスマホ、パソコン等へメールでお知らせします

弊社は欠航（休航）情報をスマートフォン、携帯電話、パソコン等へメールでお知らせするサービスを実施しております。本サービスを希望される方は下記の規約と免責をよくお読み頂き、ご同意頂ける方は下記のアドレスへ空メールを送信してください。
※メールのタイトルや本文になにも記入せずに送るメールのことで。

bouze29451@s.bmb.jp QRコードをご利用下さい



規約

- ・サービス内容 欠航情報 本サービスは従来の連絡方法に加えてのサービスになります
- ・サービス利用料 無 料
- ・サービス規約の変更

弊社はメール配信登録者に通知の上、本サービスの内容および本規約を変更することがあります。この場合、メール配信登録者にその変更メールを発信したときに変更の効力が生じます。

注意事項

※メール発信時におけるネットワークやシステムの状態、あるいはその他の事情により、正常に送信出来ない場合（不達、遅延等）がありますので、あらかじめご了承ください。

※迷惑メール対策として、個別に特定の設定を行っている場合は、受信出来ないことがありますので、ご注意ください。

【携帯メールのみ受信可としている場合など】

※登録をしたけれど、メールが届かないといった、お問い合わせを時々いただきます。メール配信サービスは専用のレンタルサーバーを経由してお送りしています。そのためお客様の携帯、スマホ等が当社からのメール（運航状況配信メール）をなりすましメールと判断し、受信できないという場合があります。お客様の方でその対応をしていただけますようお願いいたします。

※メール受信に必要な通信費等については、受信者様のご負担となります。

免 責

弊社は本サービスの提供にあたり情報保護のための安全対策を講じますがコンピューター通信の特性において限界があり、また現実性にも万全ではないと及び本サービスに依拠し、または本サービスの情報を信頼して行なった活動により発生した、いかなる損失又は損害について責任を負いかねますので、あらかじめご了承の程お願い申し上げます。

坊勢輝汽船株

☎ 079-234-1173

【取組事例⑥】片道券のキャッシュレス決済を可能とし、利用者サービスの向上に引き続き努めた。



キャッシュレス決済「PayPay」対応のお知らせ

ご利用の際は下記注意事項をご確認ください。

① PayPay決済は事務所でのみ受付いたします。

- ・姫路事務所は6：30～19：20
- ・坊勢事務所は7：30～19：10

※上記時間帯以外では対応出来かねます。

② 片道券のみの販売になります。

（往復券・回数券・定期券の購入は出来ません。）

切符のまとめ買いも出来ません。

（片道券の往復分まとめでの購入はご遠慮ください）

※使用期限は販売日のみとなっております。

期限を過ぎたチケットの払戻は出来ません。

以上、注意事項をよくご確認の上ご利用ください。

お問合せ先
坊勢輝汽船株式会社
TEL.079-234-1173

定期船の時刻も記載

【取組事例⑧】工事関係者の利用を見据えた朝の第 1, 2 便のダイヤ改正により、輸送量が増加した。

- 10 -